

平成24年度

文教福祉常任委員会行政視察報告

(平成24年10月24日～10月26日)



視察者

畝原	幸裕
海野	誓生
鈴木	富士男
黒木	万治
坂口	英治
柏田	公和



愛媛県松山市

- ◆ 面積 429.05平方キロメートル
- ◆ 人口 514,808人(平成24年4月)



松山城



道後温泉

●松山市とその周辺



ことばのイベント事業

「ことば」を正しく使えば人を笑顔にしてくれるし、まちを明るくしてくれる。「ことば」は、松山にとっても先人から受け継いできた大切な財産である。近代俳句の祖、松岡子規や高浜虚子など多くの文人や俳人を輩出するとともに、夏目漱石の「坊ちゃん」や司馬遼太郎の「坂の上の雲」などの小説となった松山。こうした文学的土壌を活かしながらあえて形のない「ことば」にこだわりをもった事業を発信している。



正岡 子規



夏目漱石

事業の幕開け

新たな世紀に当たって、これまでと違った形での町づくりはできないか？

2000年(平成12年) 21世紀イベント委員会の立ち上げ

- ◆ 目的 松山ならではの歴史や文化的な風土を活かした「人づくり」・「物づくり」・「コトづくり」を展開するため
- ◆ 委員 デザイナー、アーティスト、俳人、冒険家など17名の市民
- ◆ 内容 「子規100年祭」「松山条築城400年祭」の提言、まちの活性化や賑わい、文化の創出に繋がるような事業の掘り起こし
- ◆ 方法 議論し、まとまったものを行政側に提案してもらい、事業として展開可能な分野から開始

俳句甲子園

1. 趣旨

- ① 幾多の俳人を輩出した松山で俳句に慣れ親しむ環境の創出
- ② 誰でも気軽に近寄って俳句を愛する機会の創出
- ③ 松山から全国に発信できる文化事業

2. 経緯

- | | | |
|-------|---------|-----------------------|
| 1998年 | 第1回大会 | ・松山青年会議所が主催 |
| ⋮ | | ・松山市と近隣の高校9校が参加 |
| 2000年 | 第3回大会 | ・全国大会と銘打って開催 |
| 2001年 | 第4回大会 | ・松山市が後援(共催事業) |
| ⋮ | | |
| 2004年 | 第7回大会 | ・地区予選制度を導入 |
| ⋮ | | |
| 2006年 | 第9回大会以降 | ・参加は50校以上、70～100チーム程度 |

3. 大会の概要

◆ 試合形式

- ・ 5人編成の2チームが赤白に分かれ、1対1の対戦形式で試合を行う。
(予選は3句、決勝トーナメントは5句勝負)
- ・ それぞれの俳句の作品ポイントと、互いの俳句に対する鑑賞ポイントの合計を対戦ごとに競い、勝敗を決する。予選は2勝したチームの勝ち、リーグ戦は3句全て対戦、決勝トーナメントは先に3勝した時点で勝ち。

地方大会

☆参加は5人1組(高校生5人と引率者)



36チームが勝ち抜き

全国大会

☆8月19日(俳句の日)近辺で2日間

3チームずつ12ブロックに分かれリーグ戦



12チームでトーナメント戦



決勝戦(3チームと敗者復活線の1チーム)



商店街特設会場でのリーグ戦



写真:松山市ホームページから引用

4. 大会の運営

- ・市民ボランティア「NPO法人俳句甲子園実行委員会」が運営
- ・OBOGボランティア、一般ボランティア、商店街組合がサポート

5. 市の関わり

- ・マスコミへの情報発信、参加校募集、協賛企業募集など
- ・経費の一部負担

～ 財源確保の取組み ～

大手飲料メーカーの協力のもと、市民会館を始め、市内各地に、自動販売機による支援金確保を実施。売り上げの5%が、俳句甲子園の支援金となる。年間約30万円を確保。



6. 最終目標と課題

◆ 俳句甲子園の最終目標

全国47都道府県の代表が俳都松山に集結する大会

◆ 想定される課題

①参加校・エリアの拡大

(俳句甲子OBOG等派遣事業・・・全国各地の高校等に選手OBOGを講師として派遣、俳句の作り方から大会参加に向けたルール等を指導する)

②スタッフの人員確保

③企業協賛の募集

④地方大会の充実

⑤更なる俳句甲子園の周知徹底

⑥実行委員会の組織力アップ

⑦事業予算の確保 ……など



その他の事業

☆ 響け!!言霊 “ことばのがっしょう” コンクール
小中学生による「群読」によるコンテスト

☆ 「ことば」から生まれた歌 ～ この街で

芥川賞作家の荒井満氏とエッセイストの三宮麻由子さんとの合作。
「だからことば大募集」で市長賞に選ばれた作品をコンセプトに「この街で」という楽曲が生まれ、全国で発売。市民コーラス、ミュージカル、電話の保留音、電車の発着メロディ、10組以上のアーティストに歌い継がれている。

☆ だからことば大募集

2000年 「だから、ことば大募集」 12,001点の作品

あなたのことばが松山を元気にし、文化をつくれます。

2010年 「ことばのちから2010大募集」 12,200点の作品

あなたのことばで、みんなが繋がる、だから、ことば大募集

今、一番失われているものは何か？を実行委員会で議論を重ね、たどり着いたテーマ

☆ 街はことばのミュージアム

～ まち全体がキャンパス ～

「だから、ことば大募集」に寄せられた作品を市内各所に掲示。



郊外電車



路面バス



松山城リフト下



松山空港

【委員の考察】

- 「だから、ことば大募集」は、短歌や俳句のように形、字数にとらわれず、自分の気持ちを30字以内に表現することに、応募数が広がったと考えられる。群読は日向市でも、小中学校を中心に広げていくと良いと思う。
- 俳句や小説にこだわるのではなく、「ことば」にこだわっているので多彩な事業が展開できている。また、日常的なことばの世界を活かした文化、そこからの事業が市民の評価を得、全国的なものとなっている。本市においても、「若山牧水」や「高森文夫」をはじめとする「ことば」の文化から何を考えるのかが問われていると感じた。

俳句甲子園

- 始まったばかりの当市の短歌甲子園、どんな視点で、どんな手法により全国にアピールしていくのか、民の力を結集した協議の場が求められると感じた。
- 長い歴史に育まれた文化が色あせることなく現代まで受け継がれてきた素地が「ことばのカイVENT事業」にも活かしている。事業のマンネリ化を常に民の力を引き出すことで、新たな事業展開につなげていっていることは、見習うべき手法だ。
- さらに参加校の拡充に向け、講師を全国各地の高校に派遣している取組みを聞いて、徹底している点に感動した。
- 実行委員会の組織力アップが必要。参加校の拡充については、指導教師の育成が必要である。

まちなか子育て・市民交流センター

愛称：「てくるん」

1. 設置目的

- ① 待機児童の解消に向けた取組みとして、家庭的保育事業の実施
- ② 商店街を訪れる子ども連れ世帯の利便性向上として、託児事業の実施
- ③ 中心市街地の活性化を図るため、空き店舗を活用し、無料休憩スペースなどの多目的機能を持つ交流スペース及び多目的トイレ等を設置

2. 主な事業内容

- ①保育、②託児、③多目的交流スペースを活用した、市民交流及び情報発信事業

3. 委託先

保育・託児事業・・・小学館集英社プロダクション

多目的交流スペースの受付事業・・・(株)まちづくり松山

ご利用料金〈午前10:00～午後8:00まで利用可能です〉

託児室
※日曜・祝日のみ

最初の1時間まで……400円
以後30分までごと……200円
★最長3時間までお預かり

多目的
交流
スペース

1時間までごと・1㎡当たり……10円

<託児室の利用手順>

託児室で空き状況を確認

申請書の記入

最長3時間までお預かり

料金のお支払い

<多目的交流スペースの予約手順>

つばきネット又は電話で空き状況を確認

窓口で申請書を記入(許可書を交付)
(利用日の6ヶ月前から2日前まで)

ご利用前に料金のお支払い

ご利用

【貸出備品リスト】

器具名	使用料	器具名	使用料
プロジェクター	1回 200円	パーテーション	1回 100円
スクリーン	1回 100円	テレビ	1回 200円
ホワイトボード	1回 100円	DVDプレーヤー	1回 100円
スポットライト	1回 50円	コインロッカー	1回 100円

※1月1日を除く毎日オープン。利用時間は午前10時～午後8時まで。

まちコムスポットてくるんの機能

(お子さんと一緒に)

- 託児室(日曜・祝日のみ、有料)
- 休憩スペースやキッズスペース(無料)
- おむつ替え可能な多目的トイレや授乳スペース(無料)

(交流スペースとして)

- イベントの開催できる多目的交流スペース(有料)

(お買い物に)

- ベビーカー、車椅子、買い物用カートの貸出し(無料)
- 女性用フィッティング・パウダールーム(無料)
- コインロッカー(有料)

(万一の場合に)

- AED



〒790-0004 松山市大街道1丁目5番地10 松山第二佐々木ビル1階

松山市まちなか子育て・市民交流センター

■お問い合わせ/保育室・託児室について TEL・FAX:089-904-7007
e-mail:smile@shopro.co.jp
多目的交流スペースについて TEL・FAX:089-904-5728
e-mail:tekurun@gem.e-catv.ne.jp



まちなかに保育・託児機能を
備えた新たな交流スペースが誕生!

その名も
まちコムスポットてくるん

☆まちコムスポット=「まちなかのコミュニティスポット」
☆てくるん=「てくてく歩いてるん気分」



(実際のイメージとは異なります)

松山市
松山市視察資料から引用

まちなかに憩いのスペース「てくるん」がオープン!



- 子育て支援活動について**
- 子育て相談
 - お誕生日会(毎月実施)
 - 歯科医による乳幼児の歯磨き相談
 - 栄養士による離乳食相談
 - クリスマス等の季節行事イベントなど



- 男性用トイレ
Toilet men
- 女性用トイレ・化粧室
Toilet women・Powder room
- 多目的トイレ
Accessible restroom
- 授乳室
Nursing room
- 受付・案内所
Information
- コインロッカー
Coin locker
- キッズコーナー
Kids corner
- 自動販売機
Vending machine
- 休憩
Rest
- AED
AED
- 車椅子
- ベビーカー
- 買い物カート(無料)

多目的交流スペースのご利用方法

多目的交流スペースは無料休憩所のほか、次のようなご利用ができます。

- 講座、講習会、会議
- アートギャラリー
- 市民交流活動、商店街関連イベント

※ご利用は有料になります。(利用料金参照)
詳しくは受付にお尋ねください。
※ゴミは各自でお持ち帰りください。





愛媛県今治市

- ◆ 面積 419.90平方キロメートル
- ◆ 人口 168,496人(平成24年4月)
- ◆ 合併 平成17年1月16日(1市8町2村)

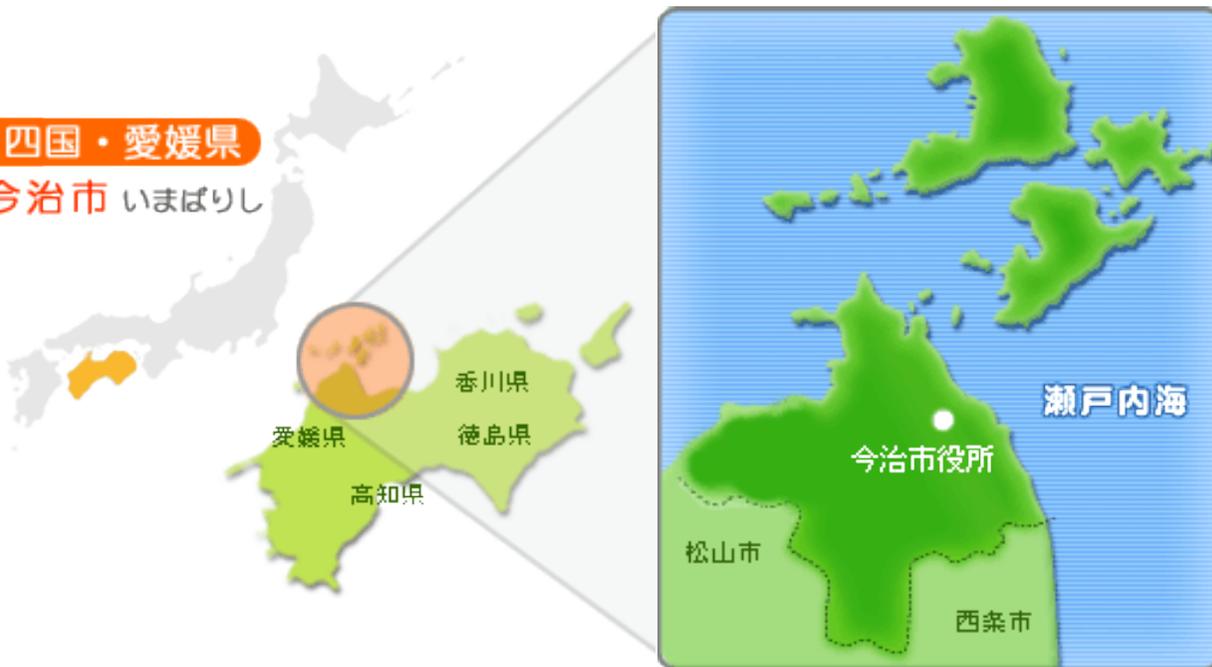


今治城



瀬戸内しまなみ海道

四国・愛媛県
今治市 いまばりし

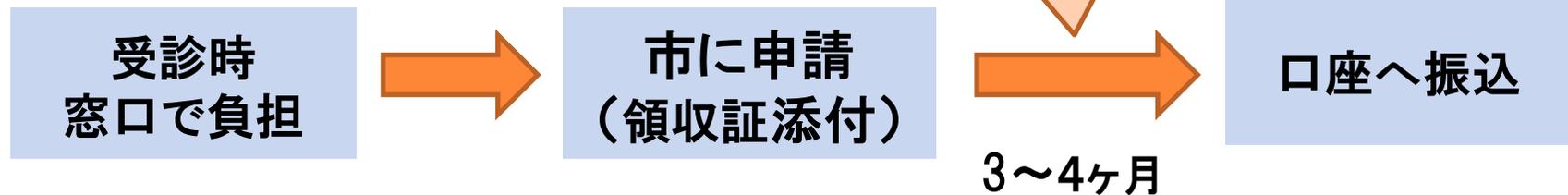


乳幼児・小学生の医療費助成

1. 乳幼児・・・乳幼児医療者受給証を交付、通院・入院を助成

2. 小学生・・・入院のみ償還払い方式で助成

◆ 支給までの流れ(償還払い方式)



◆ 支給額の実績

平成23年度	140件 7,801,946円	小学生8,500人中 1.6%
平成22年度	127件 6,769,534円	
平成21年度	81件 4,181,562円	

*一部保護者から現物給付方式を求める声はあるが、費用対効果の面から償還払い方式で行っている。

*市長マニフェストに掲げられた項目で無理のない程度で行っている。通院まで助成を広げるのは財政面で困難である。

はり・きゅう施術助成

	国民健康保険事業	後期高齢者医療事業
施術料	・1術 1,190円 (初回2,600円) ・2術 1,490円 (初回2,950円) ・小児ばり 600円	・1術 1,190円 ・2術 1,490円
回数制限	1日1回 1月に10回以内 (初療月は、15回以内)	1日1回 1月に10回以内
自己負担金	施術料の3割	施術料の3割
昨年度実績	6,337件 15,741,537円	3,228件 6,826,029円

***はり・きゅう施術業者は36業者で、昭和58年2月に市と協定を結んでいる。
施術料等についての協議は、2年間をベースに検討している。**

【委員の考察】

乳幼児・小学生の医療費事業

- 日向市より助成の幅は広いが、義務教育過程まで必要と思う。
- 保護者の負担軽減を図るものであり、今治市の実績から見て、本市において導入しても大幅な財政的圧迫はないのではないかと感じた。

はり・きゅう施術助成事業

- はり・きゅう施術については、10回まで助成され魅力に感じた。
- 本市においても、回数制限の見直しの必要はないか検討すべきであると感じた。
- 1術と2術で補助額を分けているようである。本市でも2術の方を増額助成する策も必要ではないかと思った。



子育て応援ヘルパー派遣事業

平成22年9月1日
登録スタート!

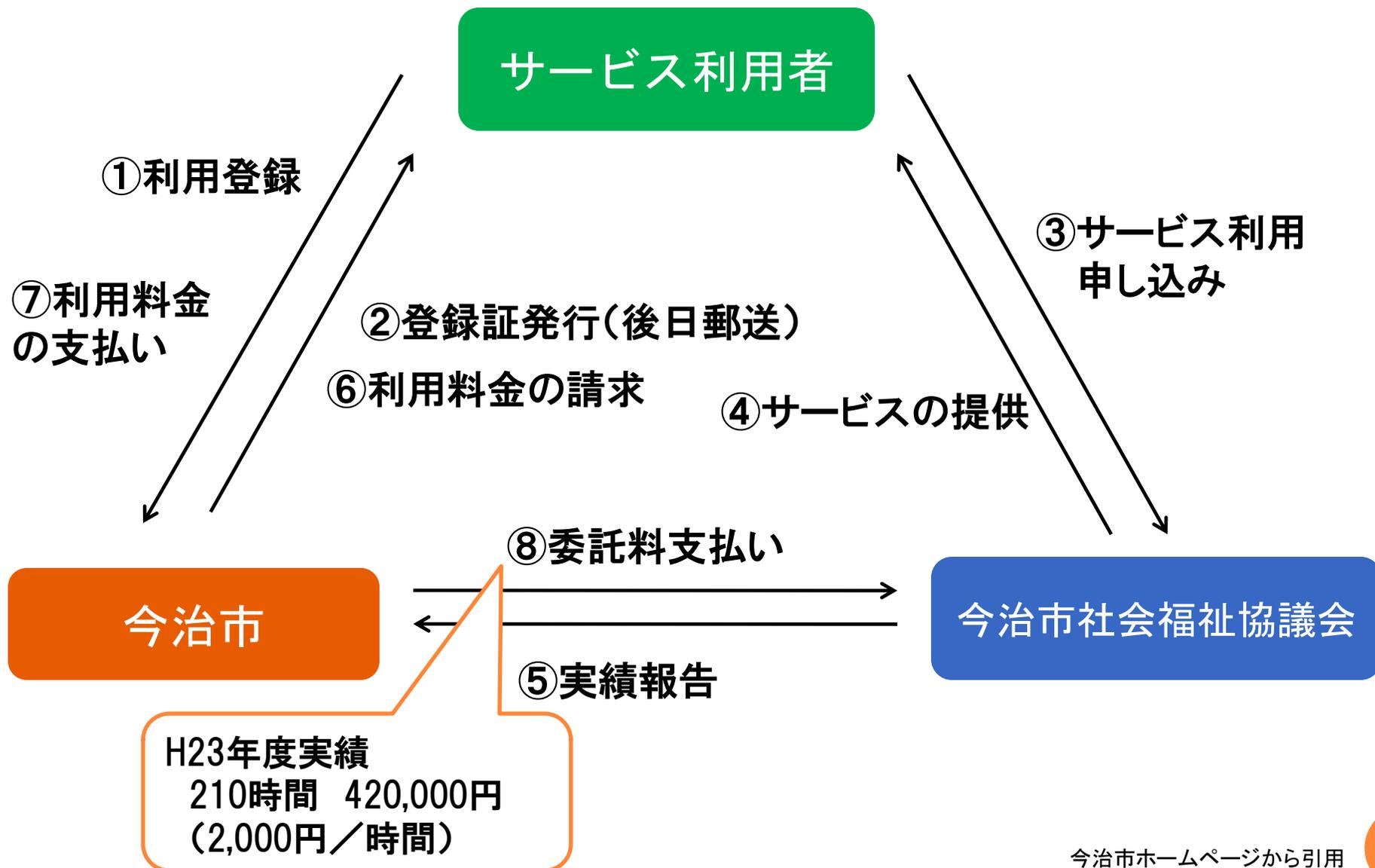
家事または育児の支援が必要な家庭に子育て応援ヘルパーを派遣して、乳幼児の身の回りの世話や家事などの援助、相談をおこなう子育て支援サービスです。

今治市が委託をした今治市社会福祉協議会のスタッフ(ヘルパー)がご自宅へ訪問し、援助をおこないます。

1. 利用ができる方

- ◆ 1歳未満(満1歳の誕生日前々日まで)の乳児と同居し、家事または育児の支援が必要な家庭 … 登録有効期間までに30回利用が可能
- ◆ 3歳未満の乳幼児(満3歳の誕生日前々日まで)を2人以上養育している家庭で、家事または育児の支援が必要な家庭 … 登録有効期間までに30回利用が可能
- ◆ 妊娠中(母子健康手帳の交付を受けた方)で家事または育児の支援が必要な家庭 … 登録有効期間までに20回利用が可能

2. 申込みから利用までの流れ



3. 支援サービスの内容

- *利用者（保護者）と子どもさんが一緒に行きます。
- *病児、病後児の家庭にヘルパーさんを派遣することはできません。

区分	援助の内容
(1)家事に関するもの	ア 食事の準備および後片付け イ 衣類の洗濯および補修 ウ 居室等の掃除および整理整頓 エ 生活必需品の買い物 オ 関係機関との連絡 カ その他、必要な家事援助
(2)育児に関するもの	ア 授乳 イ おむつ交換 ウ 沐浴介助 エ その他、必要な育児援助・相談

- *午前8時～午後6時までの間で利用できます。
- *ヘルパーの派遣は1回につき2時間以内で、1日に2回（4時間以内）までの利用となります。
- *利用料金は1時間1,000円です。市町村の課税状況によって、利用料金が変わります。

4. 利用登録者の状況（H24.10.10現在）

◆ 利用登録者数 12名(事業開始からの述べ登録者数40名)

- ・1歳未満の乳児を養育する者： 6名
- ・3歳未満の乳幼児を2人以上養育する者： 3名
- ・妊娠している者： 3名

あくまでも、行き詰った時のお守り的な役割を果たす事業。利用回数に制限を求めることも自立につなげる意味を含んでいる。

5. 派遣実績表（H22～24年度） H22.9月開始

		利用者数	派遣回数	派遣時間	(1)家事援助回数						(2)育児援助回数			
					ア食事の準備・後片付け	イ衣類の洗濯補修	ウ居住等の掃除整理整頓	エ生活必需品の買い物	オ関係機関との連携	カその他必要な家事援助	ア授乳	イおもむつ交換	ウもく浴介助	エその他必要な育児援助・相談
H22	年間計	12	65	99	33	18	45	2	0	9	1	1	20	5
	月平均	1.7	9.3	14.1	4.7	2.6	6.4	0.3	0	1.3	0.1	0.1	2.9	0.7
H23	年間計	25	110	210	44	54	43	0	0	43	43	43	7	75
	月平均	2.1	9.2	17.5	3.7	4.5	3.6	0	0	3.6	3.6	3.6	0.6	6.3
H24 (~9月)	年間計	5	35	69	35	7	15	0	0	1	0	0	12	1
	月平均	0.8	5.8	11.5	5.8	1.1	2.5	0	0	0.1	0	0	2	0.1

子育てファミリー応援ショップ事業

1. 目的

子どもたちが、健やかに成長していくことが出来る環境をつくるため、地域全体で応援する取り組みとして、商店や企業のご協力をいただき、子育て世帯の経済負担の軽減を図る。

2. 内容

妊婦や小学校就学前の子どもがいる世帯(子育て世帯)の方が、この事業に協賛していただいた店舗(協賛店舗)で買い物をした時、「母子健康手帳」または「子育て応援カード」を提示すると、協賛店舗が独自に決めた割引や特典のサービスが受けられる事業

3. 事業期間 平成20年10月1日～平成25年3月31日（継続の可能性あり）

4. 協賛店舗

暮らし住まい関係から芸術文化までの幅広いジャンルの382店舗が登録

5. 予算

平成23年度支出額・・・約109万円

主な内容は、宣伝用パンフレット作成、印刷費、チラシ配布の折り込み料

割引・特典



上のステッカーを張っている店舗で、妊婦さんのいる世帯や小学校就学前の子どもさんのいる世帯の方が買い物などをした時に割引等が受けられます。

小学校就学前の子どもさんのいる世帯の世帯主の方には、出生又は転入の翌月に、「子育て応援カード」を郵送しています。協賛店舗で買い物などをした時は必ず精算前に提示する必要があります。

今治市ホームページから引用

子育てファミリー応援ショップ事業一覧（一部抜粋）

スーパー・専門店

名 称	所 在 地	電話番号	サ ー ビ ス 内 容
㈱ジェイエイ越智今治 Aコープきくま	菊間町浜1047-1	0898-54-5770	対象者に“Aコープオリジナルスタンプカード”を発行。ポイントが貯まると「子育て応援商品」と交換。
㈱ジェイエイ越智今治 Aコープ吉海	吉海町幸新田256-1	0897-84-2751	
㈱ジェイエイ越智今治 Aコープ宮窪	宮窪町宮窪2777	0897-86-2573	
(有) 魚邦	伯方町有津甲番外1	090-9774-4001	魚全品10%引き
Yショップ ヤマキチ伊方店	伯方町伊方甲1519	0897-73-1058	商品5%引き（たばこ等一部商品除く）
ハマヤ	伯方町伊方甲2331	0897-72-1771	5%引き(但し、切手・タバコ・宅配をのぞく)
阿部酒店	伯方町叶浦甲34-1	0897-72-0090	缶ビール1ケースにつき3%引きアイスクリーム5%引き
明治牛乳伯方販売所 たけもと	伯方町北浦甲288-21	0897-72-2146	宅配希望者に限り全商品20%引き
Yショップ ヤマキチ本店	伯方町木浦甲1552-26	0897-72-1340	商品5%引き（たばこ等一部商品除く）
ヤマショウ	伯方町木浦甲1567-1	0897-72-0052	全商品の5%引き
(有) ミート山岡	伯方町木浦甲1679	0897-72-0112	スタンプカードのポイント2倍出し
㈱ジェイエイ越智今治 Aコープはかた	伯方町木浦甲1681-1	0897-72-2273	対象者に“Aコープオリジナルスタンプカード”を発行。ポイントが貯まると「子育て応援商品」と交換。
びぜんや	伯方町木浦甲2731	0897-72-0518	タバコ、切手を除いた商品3%引き
Yショップ ヤマキチ	伯方町木浦甲3503-1	0897-72-0567	商品5%引き（たばこ等一部商品除く）
スーパーアイ・マート	伯方町木浦甲3940-5	0897-72-1090	小学校就学前の子どもさんのみ誕生日にお菓子5%引き
㈱ジェイエイ越智今治 Aコープかみうら	上浦町井口5311-1	0897-87-4300	対象者に“Aコープオリジナルスタンプカード”を発行。ポイントが貯まると「子育て応援商品」と交換。
㈱ジェイエイ越智今治 Aコープ大三島	大三島町宮浦5367-1	0897-82-0346	

ガソリンスタンド

名 称	所 在 地	電話番号	サ ー ビ ス 内 容
吉源石油㈱ アイビーロードのま(セルフスタンド)	阿方甲329-1	0898-25-3733	ガソリン看板価格5円引き/ℓ（現金会員）
東冷(株) 今治港給油所	恵美須町3-1-39	0898-24-1781	ガソリン価格を平日給油した場合にも週末特別価格にて対応します(現金給油のみ)
吉源石油㈱ 今治給油所	片原町3-143-2	0898-32-0152	ガソリン看板価格5円引き/ℓ（現金会員）
吉源石油㈱ 祇園給油所(セミセルフスタンド)	祇園町1-1-56	0898-24-2005	
㈱ジェイエイ越智今治 ジョイスクエア	北日吉町1-12-15	0898-33-0113	洗車（各コース1回につき）10%引き
(株) 天宗 国分SS	国分2-13-15	0898-48-0242	ガソリン会員価格洗車、オイル2割引
(株) 天宗 今治SS	常盤町4-9-16	0898-32-0391	

その他今治市の子育て支援

- ファミリー・サポートセンター事業
- 地域子育て支援拠点事業(ひろば型)
- 地域子育て支援拠点事業(センター型)
- シニアによる子育てモデル開発事業
- わくわく子育てサロン
- マイ保育園事業
- スマイルママフェスタ
- 赤ちゃん安心おでかけ事業
- バリママ子育て応援事業
- 地域子育てサポーター
- 孫まごアカデミー事業
- こんにちは赤ちゃん事業
- 子育てサークル支援
- 子育てマイスター養成事業
- 子育て短期入所生活援助事業

【委員の考察】

子育て応援ヘルパー派遣事業

- 利用者にとって子育てによる不安や悩みごとの解消にかなり役立つと考えられる。事業費の少ないことや、今後の事業の継続には、地域とのつながりが必要と考えるが、地域コミュニティとの交わりが問題と考える。
- 市長マニフェストの単独事業であるが、家庭から外出出来る人には多くの支援があるが、公平性の点からも、外出出来ない人への支援については、きめ細やかな支援であると感じた。
- 運命共同体としての地域から個々の集合体としての地域に変遷するなかで、地域との関わりを今後、どのように構築していくのか、あくまでも行き詰った時のお守りとしての事業であるならば、日常的に多くの人たちの関心がないと事業の成果につながらないと危惧する。
- 課題は自立できるような指導をしていき制度の徹底が大切とのこと。今後とも利用登録者数を伸ばしていくことが大切である。



【委員の考察】

子育てファミリー応援ショップ事業

- 是非日向市でも取り入れて子育て世代を支えていくと良いと考える。商工会や企業とのつながりを市がしっかり把握し、業者が協賛しやすい環境づくりが先決と考える。
- 子育て家庭の経済的負担の軽減を図ると同時に、協賛店舗にも利点があることが、この事業の基本である。この事業は本市でも、商店街の活性化を図る上からも検討に値するのではないかと感じた。
- あらゆる職種の業者が382店舗も入っており、地域をあげて子育てを応援している感じがする。店舗においても、新たな付き合いができ、これを機会に末永い付き合いへと発展していくのではと思った。

子育て事業全体を通して

- どのような施策展開が子どもや子育て中の世帯にとって良いことなのか、根っこの部分の考え方が、職員や子育て支援に関係する人たちに共通認識として浸透しているから出来ることなのかと思った。
- 17の子育て事業に取り組んでおり、そのきめ細かさと福祉力の強さを感じた。